

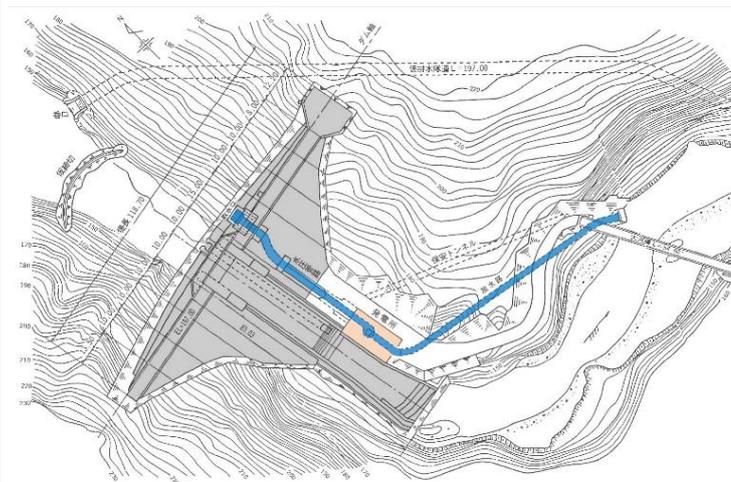
④ 高坂ダム

ダム及び貯水池諸元

河川名	最上川水系鮭川	貯水池	
集水面積	68.2km ²	湛水面積	1.1km ²
位置	山形県最上郡真室川町大字 差首鍋字青沢境山外20国有林	湛水延長	5.1km
		洪水時満水位標高	196.50m
交通	J R奥羽本線真室川駅 より20km、国道344号線	常時満水位標高	196.00m
		制限水位標高	第1次 6/21~8/20 185.00m 第2次 8/21~9/30 187.00m
ダム			
型式	重力式コンクリート	予備放流水位標高	185.00m
堤高	57.00m	最低水位標高	180.00m
堤頂長	118.70m	洪水調節水深	11.50m
堤頂幅	4.00m	発電利用水深	洪水期 5.00m
堤体積	68,700m ³		非洪水期 16.00m
基礎岩盤標高	140.00m	総貯水容量	19,050,000m ³
天端標高	197.00m	有効貯水容量	12,750,000m ³
クレスト敷高標高	181.50m	洪水調節容量	10,050,000m ³
上流面勾配	1:0.05	発電容量	洪水期 2,700,000m ³
下流面勾配	越流部 1:0.80		非洪水期 4,070,000m ³
		非越流部 1:0.79	12,200,000m ³
地質	角閃石流紋岩	堆砂容量	2,840,000m ³
		死水容量	3,460,000m ³



概要図



高坂ダム及び大沢川発電所



※大沢川発電所パンフレット(山形県企業局)・
高坂ダムパンフレット(高坂ダム管理課)より

【メモ】

河川総合開発事業により、洪水調節と発電を目的とする多目的ダムとして、昭和38年4月に着手し、総事業費約16億円を投じ、昭和41年12月にダム本体と大沢川発電所工事が完了、昭和42年1月より発電を開始し、現在に至る。

高坂ダム計画洪水波は、昭和36年6月25日洪水波を基本として決定され、ダム地点の計画高水流量610 m³/secを200 m³/secに減少させる。

流入量が200 m³/secに達したときより洪水調節を開始し、最大200 m³/secの放流を行い、流入量との差を貯留する一定放流の洪水調節方式である。

この洪水調節により、鮭川真木地点の流量を3,600 m³/secから3,300 m³/secに低減させる。

【高坂ダムパンフレット(高坂ダム管理課)より】